

科目名	リハビリテーション概論			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科1年	前期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
リハビリテーションの真の意味を知りリハビリテーションの専門職としての基本的姿勢を身につける								
〔授業全体の内容の概要〕								
リハビリテーションの意味について澤村先生のテキストを読み学ぶ。また、障害のある方が障害を受け入れ自分らしく社会参加をしていくまでの過程を知り、リハビリテーション専門職の役割と連携の大切さを知る。さらに障害のある方が働く施設を見学しお話を聞くことでより考えを深める。								
〔講師の実務経験〕								
作業療法士として37年間、兵庫県のじぎく療育センター、山本リハビリテーションクリニック、有馬病院、Cafeぼてとで勤務。ケアマネージャーの資格も有する。								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
①リハビリテーションとはを語ることが出来る ②障害の受容の過程を理解する ③ICFについて理解する ④リハビリテーションの専門職に興味を持ち連携の大切さを学ぶ ⑤障害のある人の生活を知る								
回数	講義内容(順不動)							
1	リハビリテーションとは？定義と歴史							
2	障害のとらえ方、障害受容の過程							
3	ICFについて							
4	リハビリテーション専門職と連携							
5	障害のある方の社会生活を支える制度を調べる							
6	障害のある人の生活を知らう(施設見学)							
7	障害のある人の生活を知らう(体験談)							
8	リハビリテーションと作業療法							
	定期筆記試験							

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
リハビリテーション連携論	澤村誠志	三輪書店

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

定期試験にて評価する。